

メンター通信(VOL. 13)

平成 24 年 8 月 11 日

季節はずれの台風もきたり、暑さも想像をこえていたり今年も厳しいです。オリンピック真っ只中のこの時期、メンター活動は夏休みで小休止というところですが。今回からレイアウトを少し変えて通信をおとどけてまいります。

①メンター活動報告(4～6 月)

	活 動 内 容	延べメンター数	対象者数
5 月 20 日	保育士連続研修① サポートブック研修	1 名	26 名
6 月 7 日	りんくすグループ相談会①(派遣)	2 名	3 名
6 月 11 日	サポートブック研修(そよ風)派遣	1 名	37 名
6 月 13 日	行政窓口研修 障害特性講義 グループファシリテーター	1 名 5 名	61 名 (市 42、 県 19)
6 月 14 日	行政窓口研修 障害特性講義 グループファシリテーター	1 名 4 名	50 名 (市 29、 県 21)
6 月 24 日	保育士連続研修② 保護者として(講義) 擬似体験 グループファシリテーター	1 名	1 名 2 名
6 月 26 日	サポートブック研修(県センター主催支援者向け研修)派遣	2 名	35 名
6 月 29 日	事例検討会①	16 名	

②行政窓口研修

2006 年より愛知発達障害者支援センター、名古屋市発達障害者支援センター双方の主催で、行政機関の窓口の方を対象に「行政窓口研修」を行っております。毎年たくさんの方にご参加いただき 7 年目になりました。今回はこの事業について報告します。

(1)プログラムについて

- ① 自閉症講演……………当会副理事長より自閉症についてお話し、擬似体験をしていただきます。
- ② ワークショップ……………「窓口で、その時あなたは」と題して、事例をもとに窓口における対応について考えていただきます。

(2)プログラム内容

13:00	13:30	14:30	14:50	14:55	16:00	16:45
受付	自閉症について講演	擬似体験 話し合い	休憩	ワークショップ	発表	



(3)参加者数(巻頭に報告済み)

愛知県、名古屋市の各所から毎回多くの方にご参加いただいています。
二日間にわたり、同じ内容を行っています。

(4) 担当より

あいち・名古屋市両支援センター主催で、今年で7回目になる行政窓口研修が6月13日14日に名古屋市昭和区役所で行われました。

参加された機関、窓口は市民課、福祉課、総務課、保険年金課、スポーツセンター、ハローワーク等、又、年齢も今年職員になられた方からベテランまで様々でした。この研修は佐藤さんと、私が講師をさせていただいています。自閉症の基礎研修、疑似体験、最後にグループでの事例のワークショップを行います。基礎研修では、特性や支援の仕方と、私たちの子育ての話を加えて伝えていますので、同じ自閉症でも一人一人違う事が理解していただけるようです。



ワークショップには5名のペアレントメンターさんにファシリテーターとして参加していただきます。2つの事例（自閉症の幼児を持つ親・高機能自閉症本人）が窓口を訪ねた時の対応をワークショップで検討していただきますが、ペアレントメンターには、親の気持ち、本人の気持ちを考えるポイント等を話して頂いています。

行政の方も、全く発達障害について知識のない方から日頃、窓口で対応している方まで様々ですが、他の市町の職員と話しあいながら窓口で出来る対応を考えていただきます。

最後にB紙に纏めてグループ毎に発表していただきますが流石、行政の皆様の発表は感心します。

参加者の感想の中に、ペアレントメンターの話が聞けて良かったと毎年書いて頂いています。

特非 愛知県自閉症協会・つぼみの会 副理事長 岡田ひろみ

=====★=====

③ペアレントメンター報告

ペアレントメンターという文字をつぼみの会報で見たことがある程度なのに、愛知のベーシック研修のあと、はるばる横浜まで旅行気分で行った私は、会場に入るなり、日本各地からお集まりの参加者の肩書きと知識の豊富さ、意識の高さに、「場違いなところにきてしまった」と大きな身体を小さくして、この二日間の講習をなんとか終わらせました。

その後もメンター活動をしないまま1年をすごし、昨年の秋にあま市であったピアカウンセリングでメンターデビューしました。そのときにペアを組んでいただいた大先輩メンターの岡田さんには大変ご迷惑をおかけしました。

メンター講習を受ける度に私はメンターに必要な【傾聴と共感】が苦手なのは・・・との不安が膨らんでいましたが、メンターデビューでは傾聴と共感ができなかったのです。「ですね・・・」「・・・とは違うの？」ということばがでたり、自分の体験を話しすぎてしまったりして、終わった後、「ああ言えばよかった」「こんな風に聴いてみればよかった」と反省ばかりしていました。

今年度もメンター活動に参加させていただく機会があるのですが、私の当面の活動目標は「傾聴と共感」あるのみです。応用研修やメンター活動を通じて、先輩メンターさんの技を盗み、いつの日か相談者の気持ちに寄り添い、話してよかったと思っていただけるメンターになりたいと思います。これからもご指導よろしくお願ひします。

愛知県自閉症協会 伊藤 千夏

=====★=====

④今後のお知らせ

1. 事例検討会第2回(平成24年9月8日13:15~15:15)の会場が、名古屋市芸術創造センター大会議室で決定いたしました。テーマは【学校教育】です。第3回については平成24年11月12日に【就労関係】で決定しております。詳細について、愛知のメンターさんは一緒にお送りするご案内をご確認ください。

2. 7~9月の活動報告書提出の締め切りについては、10月10日にさせていただきます。期日までに(ない場合も)ご連絡を御願ひ致します。

その他、ご不明な点、ご質問などは事務局加藤まで何なりとご連絡ください。

⑤メンターコメント「北から南から」

第2回は井上先生がいらっしゃる鳥取牽引組のひとり杉本さんです。

愛知県ペアレントメンターの皆様 こんにちは。「ペアレントメンター鳥取」の杉本と申します。

2005年、日本自閉症協会主催で初めて開催された愛知でのペアレントメンター養成講座に参加させて頂き、みなさんのパワーに圧倒されながらリソース情報の収集他鳥取でも手がけなければ…と帰路についたのを思い出します。その後も、鳥取での研修に愛知から加藤さんや安井さんに来ていただき、再びそのパワーとメンターの活躍ぶりに脱帽。時々愛知から情報やご指導を頂きながら進めており皆さんには感謝しております。

鳥取県には、現在ペアレントメンター登録をしているメンターが55名います。昨年より、NPO法人鳥取県自閉症協会がメンター事務局を受け、今年度は、毎日の勤務ではありませんが念願のコーディネーターを配置することができ、少しずつメンター事業も軌道に乗ってきたという感じです。

活動は県、専門家にも関わっていただいております、「鳥取県発達障がい者支援体制整備事業」の一つにペアレントメンターに係わる事業も含まれ、ペアレントメンター運営委員会（メンター事務局や運営のフォロー機関）はその事業の中で行われています。一昨年は県主催のメンター養成を、以後は毎年フォローアップ研修を発達障がい者支援センター主催で開催等、横の連携を持ちながら活動しています。

また、鳥取県は、横に長い県で3圏域に分けられますが、それぞれの圏域でリーダーメンターを置き、コーディネーターとメンターとの橋渡しをしながら進めているところです。

一昨年、愛知のメンターさんに鳥取のメンター養成講座に来ていただいた折、キャラバン公演の様子をDVDで見せていただき、感動でした。鳥取でもぜひ！！と始めたところ、反響もすこしずつ出てきて、公演回数が増えてきたところです。参加された会場の皆さんからの声は、私達の力にもなっています。

話はガラッと変わりますが、今年、県外の大学に進学した娘が高校生の時、学校への迎えの車中で、同じクラスの女の子を批判というより罵倒を繰り返す日々が続いたことがありました。「またか・・・」と、心の中で思いながらとりあえずそうかそうかと聞き、その後、批判している女の子の擁護を始めたら、娘が私に、「お母さん。私は自分の言っていることはどんなことかくらいわかっている。お母さんに話したのは、共感して欲しいから。批判されるようなら話さない！」と、顔を涙でぐちゃぐちゃにして訴えました。娘のことばが、メンター活動と重なり、わかっていたつもりの「共感」ということばが頭の中を駆け巡り、私の心に突き刺さりました。その後、「共感」と「同感」の違い、共感のことばとは？等再勉強させていただく機会があり、その後のメンター活動に役だっています。

メンターさんから、療育、先輩保護者、園や学校の先生にお世話になったので自分も役に立ちたいという声を耳にします。いろんなメンターさんに関わっていただきたいと、相談も含め健診後のフォロー教室、公演など複数体制で出向くようにしており、とても頼もしいメンター仲間と一緒に活動する中でお互い落ち込んだり悩んだりしながらも、“ここよかったよ”とメンター同士がメンターになりながら活動しています。

若い親御さんが育児を楽しんで、我が子の現状をクスッと笑う余裕を持って関わられるよう手助けをしていけたらと思っています。

杉本洋子

⑥【各地の研修風景から 第3回】 山口県・・・というか下関

今回は井上先生の出身地でもある山口県・・のなかの下関でのお話です。山口県でのメンターベーシック研修が行われたのは 2007 年度。下関では積極的に様々な取り組みをしています。



懐かしい山口弁に触れながらの研修会でした。山口県は北九州に近い西部、広島に近い東部、そして日本海側と様々な文化の違いもあります。メンターの活動を持続的にしていくには、その地域のご家族の支援ニーズやメンターの出来ることをうまくマッチングさせていく必要があると思います。カフェ ドゥ シンフォニア(ママカフェ)のお茶会や料理作りや食事会などを楽しみながら楽しい雰囲気情報交換や相談を行えるというのはメンター活動でしかできない支援活動であり、参加者も企画者も緊張しないでいろいろな話や仲間作りができるのではないのでしょうか。もちろん様々な活動企画をされるのは多くのご苦労があるかと思いますが、まずは自分たちが楽しめるものを、という姿勢はとても大切ではないかと思います。これからもマイペースで下関ならではの活動の発信をお願いいたします。またぜひ参加させてください。シンフォニーネット URL <http://sympho.jp/> 【井上 雅彦】

加藤が初めて県外でのメンター業務に出向いた土地です。二日前に 39 度台の熱を出していて、フラフラになりながら始発の新幹線に乗ったのを思い出します。初めてのことでただ緊張しきっていた加藤を温かく、楽しく迎えていただきました。その後サポバ研修やらキャラバン活動やらどんどん進んでいる地域であり、機動力が大きく、【何馬力?】と思えるほどのバイタリティーのあるみなさま……。すごく吸収力がある! どんどん吸い込んでいく! という印象です。2011 年 1 月には氏田さんとシンポという大きなイベントにも参加させていただきました。でも、悲しいことに一度も観光ができていない加藤です。次回は是非、冬じゃない時期に行ってみたいです。。 【加藤 香】

「下関からサポートブック講習の依頼があるけど…」と加藤さんから話があり、「私行きます!!」と手を挙げ立候補した安井です。何故なら…山口県には私の姉が住んでおり、そんな遠い所とは思っておらず、何回か行ったことのある身近に感じる場所だったからです。前日入りし、岸田さんに観光案内やら美味しいものをご紹介いただきつつお話をしていると、支援者向けからご本人向けの支援等さまざまな活動がされていることにびっくりしました。翌日のサポートブック研修にも保護者の方、学校の先生方など幅広く参加されており、また熱心に話を聞いてくださったことが印象に残っています。加藤さんの言葉をお借りすれば、まさしく【何馬力?】がぴったりの山口県のみなさまでした。 【安井 貴子】

「えっ?加藤さん、あれが初めてだったんですか?」びっくりですよ。堂々たるアネゴでしたもの。お慕いしております。また是非いらして下さいね! 開催が決まり、県外からもたくさんの参加者や講師の先生をお迎えするに当たり、助けてくださったのは、もうすでに開催を終えた地区のメンターさんたちでした。(函館と千葉) 電話やメールで事細かく教えてくださり、心配していただき「自閉症児の親」であることだけでこんなに暖かくつながれるメンターって「ステキ!!☆」と深く感動し、現在にいたります。その1ヵ月後、東京で開催されたフォローアップに勢いで山口県から11名で参加しました。みんなで泊った赤坂のホテルは修学旅行のようで楽しかったです…。下関は教育や医療の大学があるわけではなく 10 年前はリソースがとても少ない地域でした。「他の地域をうらやましがらない。なかったらここに創ろう!」を目標に活動をしてきましたが、メンターに出会って5年。昨年は県の予算で「山口県版サポートファイル」ができ、今年はペアレントメンターの養成に予算が付くようです。やっと時代がわたしたちに追いついてきたのね。よかった。もうそろそろ馬力も弱まってきたので、世代交代できるかしら。決して「口だけ番長」にはならず「穏やかな黄門様」のようなメンターを目指します。 【岸田あすか】

「今回のゲストコメンテーター」

あいち発達障害者支援センターでは、お力添えをいただきにありがとうございました。短い期間ではありましたが、メンターの皆さまと協働で事業をさせていただき、共に時間を過ごさせていただいたことは、今後、さまざまな地域の方々との関わりにつながっていくものと思っております。

センター勤務となった時、初めて関わった自閉症のお子さんとお母さんのことが思い出されました。当時は、利用できるサービスはほとんどなく、それに加え自分自身も力不足もあり、ただただ、お話を伺うだけでした。そのような時代から、サービスや仕組み少しずつ整いはじめました。

しかし、その中でも、行政のサービスや仕組みの波に乗り切れない方も多くおられます。ちなみに私も、日ごろから近隣とのつながりががないため、子育て中は行政の企画した教室や地域のネットワークの輪にははいりづらく、なかなか子育てのことなどを気軽に話しをする人をみつけることは難しいなと感じたひとりです。

こうした点からも、今後、メンターの皆さまの活動は、行政などの手が届きにくい隙間におられる方をそっと、ゆっくりと支えてくださる地域の力となるのではないかと思います。

4月からは、保健所で公害と認定された方を支援する部署で勤務しております。仕事自体は、直接発達障害とはつながることがなく残念ですが、保健所には、日々、地域の住民の方や関係機関から発達障害のある方やご家族からのご相談があるようです。

メンターの皆さまとの関わりから得られた気づきや活動などについても、機会があれば現場の職員にも伝えていきたいと思っております。短い期間でしたが本当にありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

前あいち発達障害者支援センター 茶谷 カンナ

~~~~~\*~~~~~\*~~~~~\*~~~~~

## 愛知県のペアレントメンターのウェブサイトができました！

愛知県ペアレントメンター等活動推進連絡会のウェブサイトができました。

Parent Mentor of Aichi

[http://pmjapan.umin.jp/aichi/Parent\\_Mentor\\_Aichi/](http://pmjapan.umin.jp/aichi/Parent_Mentor_Aichi/)

愛知県のメンターの活動や研修の実績や予定が掲載されています。このメンター通信のバックナンバーも少しアレンジして掲載されています。今後このウェブサイトを通じて、メンターの皆さんが活躍の様子を、全国に向けて発信していきたいと思えます。愛知の活動の内容を少しでも他の地域の皆さんに参考にしてもらえるといいですね。

また全国のメンター情報を集めたウェブサイトも公開されています。

ペアレントメンター Network Board

[http://pmjapan.umin.jp/Parent\\_Mentor\\_Japan/index.html](http://pmjapan.umin.jp/Parent_Mentor_Japan/index.html)

こちらには全国で動き始めているメンター活動の様子が、掲載され始めています。機会があったら、ぜひご覧下さい。

名古屋大学医学部附属病院 親と子どもの心療科 吉川 徹

## 第 13 回集計をふまえて(吉川 徹先生より)

ペアレントメンターの皆様、日々の活動お疲れ様です。今回の通信も愛知はもちろん、鳥取、山口と地方色豊かな取り組みの様子が掲載されていて、とても心強く思います。ウェブサイトなどを通じた全国の情報交換も進み始めています。他の地域の様子を参考にしながら、またお互いに励まし合いながら、ペアレントメンターの活動が少しずつ広がっていくことを期待しています。

愛知県の活動は相変わらずの過密スケジュール(?)ですが、発達障害を持つ子どもの親たちへの支援や、一般向けの啓発、専門家の研修など、それぞれの領域で、メンターの果たしている確かな役割ができてきていることを感じます。できあがった足がかりをしっかりと確保しながら、さらに活動の範囲を広げていくことが求められています。かといって今のままの少人数で頑張りを続けては、いつか燃え尽きてしまいそうです。

実はあちこちの地域の養成の様子を聞いていると、愛知県はその人口のわりに、メンターの人数は驚くほど少ないのです。面積もけて狭い方ではないわけですから、全県をカバーして活動するのは、なかなか大変です。これから、少しずつメンターの活動に参加してくださる方達を増やしながら、無理なく、長く続けていける活動になっていくとよいですね。

そのためにもできるだけ県内の広い地域から、また新しい若い親御さんに順番に入ってきていただけるような養成研修の方法を考えないといけません。研修を開催する会場やリクルートの方法など、皆さんからも意見を頂きながら、できるだけ足腰のしっかりした仕組みにしていこうと考えていきたいと思っています。

最後に私事ですが、この 5 年間続けた名古屋大学病院での勤務を終え、10 月には古巣の愛知県心神障害者コロニー中央病院に戻ることになりました。気がついたら愛知県職員に逆戻りです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

名古屋大学医学部附属病院 親と子どもの心療科 吉川 徹

### <編集後記>

7 月某日の夜、5 名連名で届いたメールの「メッセージはこちら」のところに【ポチッ】とクリックした途端・・・「ん？次へ？」【ポチッ】・・・これなに？え？Facebook？へ？登録されちゃったって事？え！どうしよう・・・！！

一覧から安井さんの名前を見つけ慌てて電話をし、「これ何？何？どうなっているの??」と混乱しつつ、安井さんに教えてもらったところ、どうやら Facebook に登録されてしまっている事が分かり愕然としました。アナログ人間の加藤にはとてもとてもできない世界です。早速調べまくって登録削除をしたのです。「ああ良かった」と思ったのもつかの間。なんだかみなさんに【加藤が Facebook 登録した】というメールが飛んでいる事が発覚。「え～～！！！！どうしよう！！！」とまた混乱しています。たった一時間のこの間になんという・・・しかも本人全くオーダーもしていないのに送られるとは何?これ??恐ろしや、Facebook・・・

メールが届いてしまった皆様、お騒がせして本当に申し訳ありません。「慣れないことはやってはいけない」「確認してから行動しなくてはならない」と痛い勉強をした加藤でした。送ってきた皮膚科の先生に抗議してやる・・・(個人的すぎる内容でごめんなさい)

発行：愛知県ペアレントメンター等活動推進連絡会

文責：特定非営利活動法人 愛知県自閉症協会・つぼみの会

〒460-0013 名古屋市中区上前津 2-14-25 上前津中央マンション 202 号

TEL/FAX 052-323-0298 E-Mail: [tubomi-aa@nifty.com](mailto:tubomi-aa@nifty.com)

編集担当者：支援部 加藤 香